



株式会社 アズロスフィーダ
代表取締役社長

清水 啓一

旅行好きが高じて大手旅行会社に就職し、24年にわたってキャリアを蓄積した清水社長。コロナ禍をきっかけに「もっと普段の生活に密着したサービスで人の役に立ちたい」と考え、宅配洗濯代行とコインランドリーのフランチャイズ店をオープンし、独立を果たした。「洗濯代行はまだ定着していませんが、一度利用していただければ魅力が分かってもらえるはず」。目標は、洗濯代行を誰もが当たり前前に利用する身近なサービスにしていくこと。晴れ渡る青空のような澄み切った心で、これからも挑戦を続けていく。

**「洗濯代行を、誰もが当たり前前に利用する。
そんなライフスタイルを提案していきたい」**

常に人々の暮らしと時代に寄り添い 先進的で革新的なサービスを提供したい

代表取締役社長 清水啓一 × 俳優 野村宏伸



『WASH&FOLD』はクローバー・ジャパン(株)が運営している洗濯代行とコインランドリーのフランチャイズチェーンで、2022年9月現在、全国に27店舗を展開している。『アズロスフィーダ』はその一員で、『WASH&FOLD 代々木店』の運営を手掛ける企業だ。清水社長は大手旅行会社での20数年にわたるキャリアを経て独立開業を果たした人物。本日は俳優の野村宏伸氏が社長のもとを訪問し、独立の経緯や事業にける想いなど、様々なお話を通じて社長の横顔に迫った。

※(株)アズロスフィーダ 社名の由来
旅行会社時代やハネムーンでも訪れており、雰囲気や食事などを大変気に入っている土地がイタリアのため、イタリア語を採用。
アズロ……イタリアのナショナルカラーである青(空色)。サッカーのイタリア代表の通称はアズーリ。
フィーダ……挑戦。
→晴天の空色のような澄み切った心を持って何事も挑戦し続けるという意味

——早速ですが、清水社長のこれまでの歩みからお聞かせください。

茨城県つくば市の出身で、造園業を営む家に生まれました。父は家庭を顧みずにながむしゃらに働く団塊世代の象徴のような人でした。雨の日は仕事ができないのですが、それ以外はほとんど休みなし。父はそれでも苦痛ではなく、休むのが苦手だったようです。ですから、子どものころから家族旅行に行ったことは一度もありません。「自分で稼げるようになって、自分のお金で自由に行けば良い」と考えていましたね。地元の高校を卒業後は東京の大学に進学。ある時、野球部の仲間から沖縄旅行に誘われましてね。飛行機にすら乗ったこともないので行くのが不安でたまりませんでしたよ(笑)。けれども、いざ行ってみると快適で、楽しい旅になったんです。それからは部活が休みになると、あちこち旅に出かけるように。国内は北海道から九州まで、海外にも行きましたね。仲間との旅では幹事を務め、皆が喜んで感謝してくれるのが嬉しくて。卒業後は大手旅行会社に就職したんです。旅行は形がある商品ではないので、自分自身で自由につくり変えることができます。また、様々な人とお会いすることができ、お客様と一緒に旅を

つくっていくことにも魅力を感じました。——社長にとっては天職と言えるお仕事だったでしょうね。旅行会社では何年ぐらいのお勤めをされたのでしょうか。

24年勤めました。その間、修学旅行や企業の研修旅行、イベント行事などのお手伝いをさせていただき、プライベートの旅行も含めて47都道府県、海外は20カ国に行きました。けれどもコロナ禍で旅行業界全体が大きな打撃を受け、勤め先でも希望退職を募るような状態になって、初めて将来に不安を感じるようになったんです。これまでは旅行業を通じて「非日常」のサービスに携わってききましたが、もっと普段の生活に密着したサービスで地域やお客様に貢献したいと考えようになりました。

——そこで今のお仕事にたどり着いたということなんですね。

ええ。私自身、在宅勤務が増える中で家事に携わるようになり、洗濯をして乾燥させ、畳んで収納するという作業が毎日の負担になっていると感じました。時間もかかりますし、意外と重労働でしょう。改めて妻に感謝する日々でした。そんな中、自宅の近所にあった『WASH&FOLD』を利用することもあったんです。洗濯代行とコインランドリーのフランチャイズで、他のコインランドリーに比べておしゃれで清潔感があり、スタッフが常駐しているという安心感がありました。

——無人のコインランドリーとは異なる、新しい業態なんですね。

ええ。洗濯代行では、洗濯から乾燥、そしてきれいに畳んで返却してくれるワンストップサービスに感激しました。考えてみればパンデミックの状態になっても、洗濯をしない人はいない。洗濯代行を依頼している家庭の割合は10%未満ということもあり、まだまだ伸びしろがあ

るビジネスだと感じたんです。それでフランチャイズでの独立開業を決め、2カ月間研修を受けました。お恥ずかしい話、これまで家事は妻に任せっきりでしたが、1から勉強して知識が広がり、普段の生活にも役立ちましたよ。そうして今年4月に法人を設立。店舗は2005年から営業している代々木店を引き継いでいます。携わるようになってまだ数カ月ですが、地域のお客様のお役に立っていると日々実感しています。洗濯代行はアメリカ発のサービスで日本ではまだまだ馴染みがないかも知れませんが、一度でも利用していただければ良さが分かっていただけるはず。実際、お客様のほとんどがリピーターになって定期的に利用して下さるのでありがたく思っています。

——堅調に事業を推進しておられる様子です。従業員さんもいらっしゃるんです。

正社員は数名と、アルバイトとパートのスタッフが在籍しています。ほとんどが20代で活気がありますね。会社にとって人は財産。「人財」なので、何よりも人を大事にした経営を行っていきたく

思っています。——素晴らしい姿勢です。ところで営業は社長が担当されているのでしょうか。

はい。私は旅行会社時代にも法人営業を手掛けていたので、そのキャリアで培った経験を活かし、法人を中心に営業を行っています。企業さんの場合は月契約で、エステサロンやクリニック、飲食店、スポーツジムなど様々な業界からニーズがあります。時間も手間もかかる洗濯は外注にして、本業に専念するという考えが多くのお客様に徐々に根付いてきていると思いますね。

——今後の展開が楽しみです。お話しも尽きませんが、最後にこれからの展望をお聞かせください。

洗濯代行が当たり前利用していただけるような身近なサービスになってほしいですね。その中で常に先進的で革新的なライフスタイルを提案し、皆様の生活に欠かせない存在になれるよう、より一層の努力を続けて参ります！

——本日はありがとうございました。(2022年8月取材)

忙しいあなたに、洗濯からの解放を

▼『WASH&FOLD』は、アメリカやヨーロッパでは広く認知されているサービスで、2005年に日本に初上陸。「お洗濯から開放される新習慣」を提案するお店として、洗えるもの全てのサポートを行っている。「一般的なコインランドリーは無人数なので簡単に開業できますが、競争が激しいため失敗に終わるケースも少なくありません。その点、『WASH&FOLD』の場合は洗濯代行がメインで、コインランドリーは併設。一般のコインランドリーとは差別化ができるんです」と清水社長。

▼洗濯代行は2つのサイズがある専用のランドリーバッグに詰め放題の定額。1バッグごとに個別で洗濯され、スタッフが1点1点手作業で畳んでバッグに入れて返却してくれる。デリバリーも行っているため、これまで洗濯のために費やしていた時間も労力もゼロになるというわけだ。もちろん、雨で乾かないなどのストレスからも開放される。洗濯には環境や肌に優しい洗剤を使用してくれるのも嬉しいポイントだ。

with guest interviewer



「コインランドリーを利用することはありますが、洗濯代行というサービスがあることは初めて知りました。バッグに詰めるだけで、洗濯をして畳まれた状態に戻ってくるというのは良いですね。共働きの人や忙しくて家事に手が回らない人、洗濯物がたくさん出るお仕事にはびつたりサービスのサービスだと思います。今後も店舗が増えていきそうですね！」
野村宏伸・談



株式会社 アズロスフィーダ
WASH & FOLD 代々木店

東京都渋谷区代々木3丁目12番11号1F
URL: <https://wash-fold.com/shop/yoyogi>